



TITLE:

表紙・編集後記・目次・裏表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・編集後記・目次・裏表紙ほか. 物性研究 2008, 90(1): 128-129

ISSUE DATE:

2008-04-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/142593>

RIGHT:

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
平成20年4月20日発行(毎月1回20日発行)
物性研究 第90巻 第1号

ISSN 0525-2997

vol.90 no.1

物性研究

2008 / 4

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行いません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不適当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 「物性研究」に掲載される論文の著作権は、物性研究刊行会に帰属することとします。但し、著者が著作物を使用することをさまたげるものではありません。
4. 本誌の論文を欧文の論文の中で引用する時には、Bussei Kenkyu (Kyoto) **76** (2001), 1. のように引用して下さい。

[原稿作成要領]

1. 原稿は、原則として日本語に限ります。
2. 投稿原稿は2部提出して下さい。但し、研究会報告は1部で結構です。
3. 別刷を希望の場合は、投稿の際に、50部以上10部単位で、注文部数・別刷送付先・請求先を明記の上、お申し込み下さい。別刷代金については、刊行会までお問い合わせ下さい。
4. ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。
 - 1) 用紙はA4を縦に使用。(印刷はB5になります。縮小率86%)
 - 2) マージンは、上下各約3cm、左右各約2.5cm。1ページに本文34行、1行に全角文字で42字程度にして下さい。
 - 3) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、本文との間に受理日を入れるので、余白を少しあけて下さい。
 - 4) 図や表は本文中の該当箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
 - 5) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
5. 研究会報告の作成要領については、物性研究ホームページをご覧ください。か、刊行会までお問い合わせ下さい。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学 湯川記念館内
物 性 研 究 刊 行 会

Tel. (075)722-3540, 753-7051

Fax. (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

掲 示 板

「物性研究」アーカイブ完成のお知らせ

この度、国立情報学研究所（NII）の学術論文データベース CiNii（NII 論文情報ナビゲータ）で、「物性研究」の創刊号（1963 年）からのアーカイブが完成しましたので、お知らせします。

「物性研究」発行後、5 年経過した号の論文 PDF は、どなたでも自由に無料で閲覧できます。ぜひご利用ください。

「物性研究」@ CiNii

http://ci.nii.ac.jp/vol_issue/nels/AN0021948X_jp.html

以下の本誌ホームページからもリンクしています。

<http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied>

尚、発行後 5 年未満の号の PDF の閲覧は有料です。有料部分の閲覧方法については、上記の本誌ホームページで詳細をご覧ください。

物性研究刊行会

編集後記

直接の面識はありませんが、自分にとってのヒーローであった物理学者 Robert H. Kraichnan さんが逝去されたので、この場をお借りして御冥福をお祈り申し上げたいと思います。

Kraichnan さんが亡くなった日は 2008 年 2 月 26 日で、年齢は 80 歳だったそうです。

Kraichnan さんは Einstein の最後の弟子の一人で、流体の発達した乱流 (fully developed turbulence) の理論分野に 1950 年代に颯爽と登場しました。乱流のような巨大自由度・強非線型系が示す揺らぎ—その多くはガウスの揺らぎとは異なる振舞いを示す—が従う統計法則を、基礎方程式から如何に自己無撞着に、同時に簡潔に理論的に扱うか？という問題に対して、ひとつの革命的な回答をしたのが彼です。その理論は直接相互作用近似 (direct interaction approximation : DIA) と呼ばれ、発表から半世紀を経た現在でも大きな影響を与え続けていることをご存じの方も多いと思います。

最近、発展が著しいガラス転移の理論に関して DIA との類似性が言及されることがあります。Kraichnan さんにガラス転移や非平衡系の秩序化過程の理論についてどう考えているかを御聞きしたかったと個人的に思っています。

1990 年代に入ってから彼も大きな潮流を少なくとも二つおこしています。一つは、乱流によって輸送される受動スカラー量 (passive scalar) が示す大きな揺らぎの統計法則に関して可解なモデルを導入したことです (業界では、passive scalar についての "Kraichnan model" と呼ばれています)。特にスカラー量の大きな揺らぎに起因する異常スケーリングが普遍性を持つことが解析的に示された点に決定的な意義があります。もう一つは、Burgers 方程式の解が示す乱流状態 (Burgers 乱流) について、鍵となる問題設定をいくつか行ってその後の発展に大きな影響を与えました。

まさに巨人といえる Kraichnan さんですが、最も特筆すべきなのは多数の後進を指導したことなのかもしれません。指導を受けた多くの方々が現在は牽引役となって活躍されています。

(春日湯)

[物性研究]

編集長

村瀬 雅俊 (京大・基研)

編集委員

荒木 武昭 (京大・理・物理)
古賀 昌久 (京大・理・物理)
高橋 義朗 (京大・理・物理)
武末 真二 (京大・理・物理)
松本 剛 (京大・理・物理)
陰山 洋 (京大・理・化学)
遠山 貴己 (京大・基研)
戸塚 圭介 (京大・基研)
早川 尚男 (京大・基研)
森成 隆夫 (京大・基研)
和田 浩史 (京大・基研)

各地編集委員

飯間 信 (北大・電子研)
泉田 渉 (東北大・理・物理)
柳瀬 陽一 (東大・理・物理)
波多野 恭弘 (東大・地震研)
笹本 智弘 (千葉大・理・数学・情報数理)
樋口 雅彦 (信州大・理・物理)
小西 哲郎 (名大・理・物理)
湯川 諭 (阪大・理・宇宙地球)
水口 毅 (大阪府大・工・数理工学)
水島 健 (岡大・理・物理)
柴田 達夫 (広大・理・数理分子生命)
御手洗菜美子 (九大・理・物理)
関本 謙 (Paris 第7大学・物理)
大木谷 耕司 (Sheffield 大学・応用数学)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第 90 卷第 1 号 (平成 20 年 4 月号) 2008 年 4 月 20 日 発行

発行人 村 瀬 雅 俊

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

印刷所 ショウワドウ・イープレス
株式会社 田村 徹

〒606-8225 京都市左京区百万遍交差点上ル東側

発行所 物性研究刊行会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学湯川記念館内

年額 19,200円

会員規定

個人会員

1. 会 費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお振込み下さい。

年会費 9,600円

1st Volume (4月号～9月号)

2nd Volume (10月号～3月号)

振替用紙は毎年2月号にとじ込んであります。振替用紙が必要な場合は、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 **01010-6-5312**

2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、すぐにご連絡下さい。

4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく1年以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご注意下さい。

機関会員

1. 会 費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、**年会費 19,200円**です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類（請求、見積、納品書）が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

2. 送本中止の場合：

送本の中止は年度の切れ目しかできません。次の年度より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は自動的に継続されますのでご注意下さい。

雑誌未着の場合：発行日より6ヶ月以内に下記までご連絡下さい。

物 性 研 究 刊 行 会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

電話 (075)722-3540, 753-7051

FAX (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

物 性 研 究 90-1 (4月号) 目 次

○講義ノート

- 「量子輸送方程式と非平衡エントロピー
ー場の量子論による非平衡統計力学ー」…………… 北 孝文 …… 1

○シリーズ「化学からみた物性物理」

- ・金属錯体を用いた多孔性磁性体 …… 大場 政昭、楊井 伸浩 …… 96

○研究会報告

- 「分子性ゼロギャップ物質の新物性」…………… 109

○掲示板

- 「物性研究」アーカイブ完成のお知らせ…………… 128

- 編集後記…………… 129

物 性 研 究 90-1 (4月号) 目 次

○講義ノート

- 「量子輸送方程式と非平衡エントロピー
ー場の量子論による非平衡統計力学ー」…………… 北 孝文 …… 1

○シリーズ「化学からみた物性物理」

- ・金属錯体を用いた多孔性磁性体 …… 大場 政昭、楊井 伸浩 …… 96

○研究会報告

- 「分子性ゼロギャップ物質の新物性」…………… 109

○掲示板

- 「物性研究」アーカイブ完成のお知らせ…………… 128

- 編集後記…………… 129